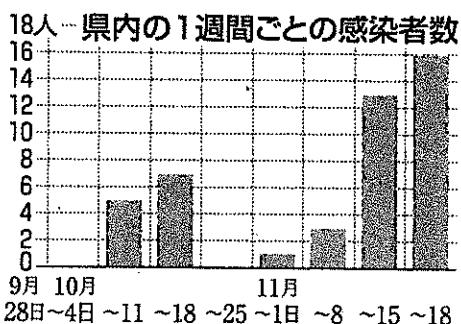


11月14日

県注意報 1週間延長



県によると、直近一週間の県内感染者は九系統に分かれ、二十一人に上る。十日発表の十一人のうち、八日発表の一人のうち、感染経路が新規とみられるのは一人とどまり、多くが濃厚接触者らの検査で見つかっている。

「第3波に入るかもしない局面」と感染への注意を呼び掛け
る杉本知事＝18日、県庁で

県内で新たに11人

県は十八日、福井、敦賀両市の男女計十一人が新型コロナウイルスに感染していたと発表した。新規感染者が二桁に上るのは八月三十日の十一人以来、二カ月半ぶり。杉本達治知事は同日の県対策本部会議で、発令中の「県感染拡大注意報」を二十六日まで一週間延長すると発表した。会議後には「第二波に入るかもしない難しい局面」との認識を示した。〔新型コロナ関連③⑨⑫⑯⑭面、論説⑩面〕

知事「第3波に入るかもしない」

県新型コロナウイルス 感染拡大防止ガイドライン	
「県感染拡大注意報」を26日まで延長	
注意報や警報など警戒レベルの評価指標見直し	
県境をまたぐ移動は、移動そのものより、訪問先での行動が重要	
感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫	
<県民へ>	
・飲酒は少人数、短時間で	
・なるべく普段一緒にいる人と	
・深酒・はしご酒は控え、適度な酒量で	
・会話する時はマスク着用か扇子、ハンカチなどで口元を覆う	
<飲食店へ>	
・業種別ガイドラインの順守	

杉本知事は「今のところ県内で次々と感染が増殖している状況ではない。(...) でしつかりと気を付けて、第三波にならないよう抑えられないといけない」と説明。一方で「新規感染が続くようなら警報基準を超えることになりかねない」と述べ、警戒を強めた。

現在の感染拡大注意報は、県が十二日に発令した。期間は当初、十九日までの一週間を予定していたが、感染状況を踏まえ延長した。県は感染対策の再徹底を求めている。

具体的にはマスクを外す飲酒・会食などは少人数、短時間で実施。マスクを外して会話する時は、扇子やハンカチ、おしひりなどで口元を覆うよう提案した。気温が低い時期でも換気を徹底し「三密」を回避することなども呼び掛けた。